

J Aほこた花卉部会 小ギク生産者が圃場巡回を実施！

5月14日（金）、J Aほこた花卉部会 小ギク生産者が、栽培技術の向上を目的とした圃場巡回を行いました。J Aほこた花卉部会では、5戸が小ギクを生産しています。今回は、夫婦を含む生産者8名参加のもと、5戸全戸を巡回しました。

J Aほこたの小ギクは、主に8月と9月の物日出荷を目標に露地で栽培されています。露地栽培は、その年の天候により開花期が不安定なことから、出荷時期に開花する品種を選定します。併せて、必要に応じた電照や植物成長調整剤等の処理が推奨されています。J Aほこたでも、4戸の農家が電照栽培に取り組んでいます。

圃場巡回中の生産者間では、「もう少し早めに薬剤散布をしたほうが、白さび病の発生拡大を防ぐことができる」、「電照栽培をすると、開花が揃うからやってみてはどうか」等の活発な意見交換が行われました。

令和3年5月18日（成長産業）

